

2023 年度研究教育事業部全国リーダー研修会報告

開催日時：2024年2月4日（日）10：20～17：00
会場：Web会議

2023 年度研究教育職域管理栄養士・栄養士リーダー育成のための全国リーダー研修会は午前と午後の2部構成で実施された。

【午前の部】

1. 「栄養学の教育・研究におけるリーダーのあり方」（公社）日本栄養士会会長 中村丁次

栄養学の歴史から管理栄養士・栄養士を養成する教員がなすべきこと、あるべき姿を示された。

アジアにおいては日本の管理栄養士制度は大変優秀なものであり、日本の食事は環境への負荷も少なく人にも地球にも健康な食事に近いと評価されている。これからの栄養は、「すべての領域に参与する one for all の時代になり、人間の基本的な人権として認識される」という言葉が印象的であった。そして、栄養士会が管理栄養士・栄養士の継続教育を支え、社会や人々の役に立つ「公益性」を目的とした団体であることを改めて確認できた。

【午後の部】

☆研究教育職域における事業の推進について

I. 2023年度事業報告

2020 年度から『管理栄養士・栄養士システムの充実と科学的根拠の蓄積を生業とした研究活動の推進及び普及、そして実践活動を通して食と健康の専門職としての責務を果たす』をビジョンとして、事業推進委員会を中心に活動した。活動の4つの柱は「研究力・教育力の向上」「倫理綱領の普及」「会員増対策」「養成校間のネットワークの構築」とし、研究教育職域全国研修会（2023年9月23日オンライン）、全国リーダー研修会（2024年2月4日）および全国栄養士大会（2023年6月28日～9月3日オンライン）が実施された。

II. 2024年度事業計画

研究教育職域の課題について、過去の基本事業を継続しつつ、以下のように2022年に細分

化した4つの中期目標を掲げて事業を展開していく。

- 1：即戦力となる管理栄養士・栄養士を養成するためのカリキュラムの再考と他職域事業部との連携の強化：臨地実習（校外実習）のあり方
- 2：教員の研究力・教育力に向けた事業の支援（教員に対する教育・研究環境の実態調査や教員の資質向上に対する事業の運営）
- 3：科学的根拠に基づいた栄養学研究的の推進：エビデンスづくり
- 4：専門職（養成）教育システムの基盤整備（Society5.0社会を見据えた教育システムの再構築）

その他、事業推進委員会、臨地実習及び校外実習の実際の改定検討ワーキング会議、実態調査検討ワーキング会議、研究教育職域全国研修会、全国リーダー研修会および全国栄養士大会（2024年10月9日～12月9日オンライン、「認知～自分を知り、相手も知る～」）を開催予定。日程がこれまでと変更になっており、講演演題の推薦を募集する予定。

2. 日本栄養士会の今後の動向について

会員増に向けた対策について、研究教育職域では学生の早期入会を目指して学生登録を行った。

＜東京都の例＞

学生登録をした場合、東京都栄養士会のすべての研修を無料で受けられる。

卒後1年目の会員は、東京都の会費免除となる。

一般会員の会費を値上げし、その代わりに研修会への参加を無料とした。

III 職域理事選任決議分野候補者および事業推進委員会委員選出について

次年度事業部の再編がされる。また、事業推進委員の改選があるため、選出方法の説明があ

り、2024年・2025年の事業推進委員の候補者が示され、承認された。

☆ブロック別交流

ブロック別に以下の点について、現状と改善策を協議した。

どの養成校も同じような課題を抱えていることがわかり、参考になる意見を得ることもでき、大変有意義な機会となった。

1) 管理栄養士・栄養士教育の現状と今後

学生確保が難しい、助手の確保が厳しい、広報活動や配慮の必要な学生への個別対応などの時間が増え、研究できる環境の確保が難しくなっている。

⇒栄養士の魅力を高校生や進路の先生にどう伝えるかに工夫が必要。

在学中から学生会員になれるシステムを構築できないか

助手の配置基準を見直してほしい

2) 臨地実習校外実習の実情

実習先の確保（コロナ後途絶えたり、受け入れが難しくなったなど）、担当教員の負担が大きい、まだリモートの実習をしているところもあるが、対面が望ましい、配慮が必要な学生の実習が困難⇒実習先と配慮の必要な学生について情報を共有する、

3) 研究教育職域が今後取り組むべき事項

- ・臨地実習の手引きへの要望

：感染症や危機管理対策についての記載
事務手続き書類のフォーマット例を示してほしい

他職種連携についての記載

- ・栄養士のイメージの幅広さを伝える工夫を日本栄養士会でしてほしい。

HPへの動画掲載、養成校との連携、設置基準改正への働きかけなど

(文責 研教 谷口信子)